



昭和十九年十二月七日、未曾有の大津波が田舎坂村を襲った。東南海地震津波到達地点
破てあるこのとき、荒坂国民学校児童生徒三百人余は津波の襲来を知らぬまま
今、まさに下坂にかからんとして、その老急を救ったのが森本福太郎翁である
翁は、自らの老急を顧みず、学校に急行すると、大奇死して津波が来る子ども
を逃がせ、「と叫び、三百人余の子どもたちを直ちに高台へ避難させた。二木島町の意に
よって建立するものである。※真地政吉さん他数名も駆け付けた。

津波が来る

子どもを逃がせ

森本福太郎翁顕彰碑

昭和19年12月7日
東南海大地震津波到達地点
S55.9.11歴史の町熊野市

熊野市二木島町の逢川橋脇の墓地入口にある「森本福太郎翁顕彰碑」と、「東南海大地震津波到達地点」の碑。



写真中央のガソリンスタンド横の墓地入口に、「森本福太郎翁顕彰碑」と、「東南海大地震津波到達地点」の碑がある。